

魅力の「絹の国」時代超えて輝く

価値

高品質な生糸の大量生産を実現し、絹の大衆化に大きく貢献した「富岡製糸場と絹産業遺産群」。世界遺産に求められる顕著な普遍的価値には、19、20世紀における近代養蚕製糸分野での技術革新と技術がもたらした国際交流を掲げている。

その価値を示す資産として、良好な状態で産業施設や建物が残っている富岡製糸場を中心に、良質な繭の供給で製糸場を直接支えた田島弥平旧宅(伊勢崎市)、高山社跡(藤岡市)、荒船風穴(下仁田町)を世界遺産候補とした。

富岡製糸場は、殖産興業を掲げる明治政府がフランスから器械製糸や工場建築の技術を導入して1872(明治5)年に開業。全国から集まった工女が最新の製糸技術を学び、郷里に帰ってその技術を伝えた。140年の歴史を伝える木骨レンガ造りの練糸場(長さ140m)や繭倉庫(同一04層)などの主要施設が、

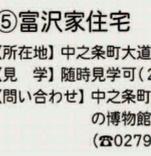
ほぼ完全な形で残っている。民間払い下げ後の明治後期から大正期にかけ、高品質で均一な原料繭を確保するために蚕種(蚕の卵)生産の田島家(田島弥平旧宅)、養蚕教育機関の高山社、天然の冷気で蚕種を貯蔵した荒船風穴と協定を結んだ。

これにより同一品種の繭を安定して供給する仕組みを構築し、生糸の大量生産を実現した。この生産体系は全国に広まり、日本の生糸生産は1930年代に世界市場の80%を占めるに至り、世界各地で絹の大衆化に貢献した。

技術革新と国際交流



⑧薄根の大クワ
【所在地】沼田市石墨町
【見学】随時見学可
【問い合わせ】沼田市社会教育課 (☎0278・23・7565)



⑤富沢家住宅
【所在地】中之条町大道
【見学】随時見学可(2階は不可)
【問い合わせ】中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 (☎0279・75・1922)



⑦東谷風穴
【所在地】中之条町赤坂
【見学】悪路のため見学困難
【問い合わせ】中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 (☎0279・75・1922)



③田島弥平旧宅
【所在地】伊勢崎市境島村
【見学】個人宅のため非公開。外観のみ見学可。10人以上の団体であれば、ガイドによる案内も可
【問い合わせ】伊勢崎市文化財保護課 (☎0270・63・3636)



⑪旧上野鉄道関連施設鬼ヶ沢橋梁
【所在地】富岡市南蛇井、下仁田町白山
【見学】随時見学可だが悪路のため注意が必要
【問い合わせ】富岡市文化財保護課 (☎0274・62・1511)
下仁田町ふるさとセンター (☎0274・82・5345)



⑫旧上野鉄道関連施設下仁田倉庫
【所在地】下仁田町下仁田
【見学】外観のみ見学可。敷地内は立ち入り禁止
【問い合わせ】下仁田町ふるさとセンター (☎0274・82・5345)



②高山社跡
【所在地】藤岡市高山
【見学】随時見学可。団体は要予約
【問い合わせ】藤岡市文化財保護課 (☎0274・23・5997)

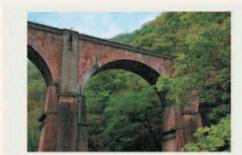
4資産と主な絹遺産



⑥六合赤岩養蚕農家群
【所在地】中之条町赤岩
【見学】随時見学可。ガイド付き見学は団体2000円、個人500円
【問い合わせ】赤岩ふれあいの家 (☎0279・95・3008)



④荒船風穴
【所在地】下仁田町南野牧
【見学】冬期は見学に制限あり。内部は立ち入り禁止
【問い合わせ】下仁田町ふるさとセンター (☎0274・82・5345)



⑩碓氷峠鉄道施設
【所在地】安中市松井田町坂本
【見学】随時可
【問い合わせ】安中市学習の森 (☎027・382・7622)



⑨旧小幡組製糸レンガ造り倉庫
【所在地】甘楽町小幡
【見学】町歴史民俗資料館として活用されている。
月曜休館、高校生以上200円
【問い合わせ】甘楽町歴史民俗資料館 (☎0274・74・5957)



①富岡製糸場
【所在地】富岡市富岡
【見学】随時見学可。大人500円、高大学生250円、小中学生150円
【問い合わせ】富岡市富岡製糸場課 (☎0274・64・0005)



近代化の息吹 各地に

世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」の4資産を含む県内の養蚕、製糸、織物関連の遺産を幅広く知ってもらおう県の取り組みが、2011年に始まった「ぐんま絹遺産ネットワーク」だ。これまでに58件が登録され、県は今後も追加

登録を進めて「絹の国」の魅力アピールしていく。世界遺産候補の4資産だけではない県内各地の貴重な絹遺産を再評価し、保存活用につなげるのが目的。ぐんま絹遺産推進委員会(高木賢委員長)が市町村

から推薦された資産を審査し、県が登録している。今秋にも追加候補を審議する予定だ。

世界遺産候補が当初の10資産から、富岡製糸場と密接に結び付いた4資産に絞り込まれた中で、候補から外れた碓氷峠鉄道施設(安中市)や富沢家住宅(中之条町)、六合赤岩養蚕農家群(同)なども含まれている。

ことし7月に市街地の一部が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された桐生市では、地区内に無鄰館や旧曾我織物工場といった絹遺産がある。ともにのこぎり屋根の構造をとどめており、織都の繁栄ぶりを今に伝えている。

県は58件の所在地やアクセス、問い合わせ先を載せたリーフレットを県内各地で配布。今春には専用ホームページを開設し、地域や時代、文化財指定の種類などの条件で、各地の資産を検索できるようにした。複数の資産を選択すると、モデルルートを作成する機能があり、公募リポーターが現地を訪れた感想を読むこともできる。

今後、県は現地に案内板を設置するなど、環境整備を進めていく。県世界遺産推進課は「いろいろな絹遺産があることが浸透してきた。地域や資産の特徴、4資産との関連性など、さまざまな切り口で巡ってもらえるようにしたい」と話している。

ネットワーク

登録され、県は今後も追加

から推薦された資産を審査

審査し、県が登録している

今秋にも追加候補を審議

する予定だ

世界遺産候補が当初の10